



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場会社名 アキレス株式会社

上場取引所 東

コード番号 5142 URL <http://www.achilles.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 守

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長兼経営企画本部長 (氏名) 藤澤 稔

TEL 03-5338-8112

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	19,965	0.9	238	145.0	391	139.9	1,288	—
27年3月期第1四半期	19,779	5.8	97	△31.3	163	△52.3	100	△57.8

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 1,475百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △41百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第1四半期	6.96	—
27年3月期第1四半期	0.54	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第1四半期	76,966	44,286	57.5	239.30
27年3月期	77,976	43,552	55.9	235.33

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 44,286百万円 27年3月期 43,552百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	44,000	4.6	450	5.0	650	12.5	1,300	36.4	7.02
通期	92,000	3.3	1,200	31.4	1,850	25.0	2,000	55.3	10.81

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	190,627,147 株	27年3月期	190,627,147 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	5,562,587 株	27年3月期	5,559,264 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	185,066,665 株	27年3月期1Q	185,095,994 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を行っております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済情勢は、国内は雇用と所得環境の改善と原油価格の安定効果により個人消費の回復が一部で見られました。海外は引き続き堅調な米国経済がけん引する一方、長期化するウクライナ情勢、「イスラム国」問題に加えギリシャの債務不履行問題は世界経済に不安を与えました。円安の定着は貿易収支を改善させたものの、原油価格の安定効果を薄め、原材料・エネルギーコストや輸入製品価格が高止まりするなど厳しい事業環境が継続しました。

このような事業環境の下、当社グループは企業価値の増大を目指して、ブランド力・魅力ある商品創りと拡販に注力してまいりました。具体的には省エネルギー関連製品、環境対応製品、スポーツ健康関連製品など成長分野と、インフラ整備、防災関連分野およびグローバル化へと積極的な事業展開を推進するとともに徹底したコストダウンに取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高 19,965 百万円(前年同四半期比 0.9%増)、営業利益 238 百万円(前年同四半期比 145.0%増)、経常利益 391 百万円(前年同四半期比 139.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益 1,288 百万円(前年同四半期比 1,187 百万円増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### <シューズ事業>

ジュニアスポーツシューズのトップブランド「瞬足」は円安によるコストアップを吸収するため、「アキレス・ソルボ」は主要原材料である原皮の高騰によるコストアップを吸収するため、それぞれ実施した販売価格改定の影響により、いずれも前年売上を下回りましたが、20km 歩けるパンプス「ALL DAY Walk」は引き続き好調に推移いたしました。

シューズ事業全体では前年売上を下回りました。

シューズ事業の当第1四半期連結累計期間の業績は売上高 3,606 百万円(前年同四半期比 8.5%減)、セグメント利益(営業利益)は△229 百万円(前年同四半期は△37 百万円)となりました。

#### <プラスチック事業>

車輦内装用資材は、国内自工メーカーの減産、中国・東南アジアマーケットの減速はありましたが、堅調な北米マーケット向けの伸長により前年売上を上回りました。

フィルムの国内事業は、国内向けの産業用、一般用途がともに低迷し前年売上を下回りましたが、海外向けは、窓用および工業用が好調に推移し、前年売上を大きく上回りました。北米事業は、医療用等が好調に推移しましたが、文具用は苦戦しました。農業分野は、前年売上を下回りました。

建装資材は、住宅関連市場に回復の兆しは見えるものの、消費増税の駆け込み需要の反動の影響が長期化しており、床材、壁材ともに前年売上を下回りました。

引布商品は、アメリカ向け輸出ポートが好調で、内需向け商品も順調に推移し、前年売上を上回りました。

プラスチック事業の当第1四半期連結累計期間の業績は売上高 9,160 百万円(前年同四半期比 1.5%増)、セグメント利益(営業利益)は 556 百万円(前年同四半期比 46.9%増)となりました。

### <産業資材事業>

ウレタンは、家具用・日用雑貨用が好調に推移し、また車輛用も好調を維持し前年売上を上回りました。

断熱資材は、システム製品が工事用原液、スチレン製品が一般ブロックの伸長により前年売上を上回りましたが、ボード製品は住宅向け、パネル製品は簡易ハウス向け等で苦戦し、全体では前年売上を下回りました。

静電気対策品は、海外主要顧客での在庫調整がありましたが、ほぼ前年並みの売上となりました。

産業資材事業の当第1四半期連結累計期間の業績は売上高7,199百万円(前年同四半期比5.7%増)、セグメント利益(営業利益)は400百万円(前年同四半期比26.1%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は76,966百万円で前連結会計年度末に比較して1,010百万円減少しました。

資産の部では、流動資産は48,819百万円となり前連結会計年度末に比較して450百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が1,244百万円、商品及び製品が888百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が2,555百万円減少したことによります。固定資産は28,147百万円となり前連結会計年度末に比較して559百万円減少しました。これは主に、投資その他の資産が415百万円増加しましたが、有形固定資産が932百万円減少したことによります。

負債の部では、流動負債は26,557百万円となり前連結会計年度末に比較して1,631百万円減少しました。これは主に、その他流動負債が1,254百万円、支払手形及び買掛金が463百万円減少したことによります。固定負債は6,122百万円となり前連結会計年度末に比較して113百万円減少しました。これは主に、退職給付に係る負債が107百万円減少したことによります。

純資産の部は44,286百万円となり、前連結会計年度末に比較して734百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が547百万円、その他有価証券評価差額金が183百万円増加したことによります。以上の結果、自己資本比率は57.5%となり前連結会計年度末に比べ1.6%好転しました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月12日公表の業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,128	8,373
受取手形及び売掛金	27,542	24,986
商品及び製品	8,792	9,680
仕掛品	1,475	1,520
原材料及び貯蔵品	2,053	2,261
繰延税金資産	1,308	1,041
その他	1,016	998
貸倒引当金	△47	△42
流動資産合計	49,270	48,819
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,251	7,820
機械装置及び運搬具（純額）	4,824	4,737
土地	5,267	4,950
建設仮勘定	228	141
その他（純額）	495	484
有形固定資産合計	19,067	18,134
無形固定資産	672	631
投資その他の資産		
投資有価証券	4,093	4,393
退職給付に係る資産	2,073	2,316
繰延税金資産	2,101	1,962
その他	755	766
貸倒引当金	△56	△57
投資その他の資産合計	8,966	9,381
固定資産合計	28,706	28,147
資産合計	77,976	76,966

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,612	14,148
短期借入金	2,339	2,374
1年内返済予定の長期借入金	3,000	3,000
未払金	3,521	3,464
未払法人税等	224	333
その他	4,490	3,235
流動負債合計	28,188	26,557
固定負債		
長期末払金	9	9
繰延税金負債	513	507
退職給付に係る負債	5,352	5,245
資産除去債務	351	351
P C B廃棄物処理引当金	8	8
固定負債合計	6,236	6,122
負債合計	34,424	32,680
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	10,708	10,708
利益剰余金	16,251	16,799
自己株式	△728	△728
株主資本合計	40,872	41,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,050	1,233
繰延ヘッジ損益	92	108
為替換算調整勘定	1,102	1,081
退職給付に係る調整累計額	434	442
その他の包括利益累計額合計	2,679	2,866
純資産合計	43,552	44,286
負債純資産合計	77,976	76,966

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	19,779	19,965
売上原価	15,997	15,900
売上総利益	3,782	4,064
販売費及び一般管理費	3,684	3,826
営業利益	97	238
営業外収益		
受取利息及び配当金	29	25
その他	102	153
営業外収益合計	131	178
営業外費用		
支払利息	17	15
その他	48	10
営業外費用合計	66	26
経常利益	163	391
特別利益		
固定資産売却益	0	1,811
保険差益	64	0
特別利益合計	64	1,811
特別損失		
固定資産売却損	—	97
減損損失	—	129
固定資産除却損	23	7
特別損失合計	23	234
税金等調整前四半期純利益	204	1,968
法人税、住民税及び事業税	126	354
法人税等調整額	△22	326
法人税等合計	103	680
四半期純利益	100	1,288
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	100	1,288

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	100	1,288
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	130	183
繰延ヘッジ損益	△107	16
為替換算調整勘定	△157	△22
退職給付に係る調整額	38	7
持分法適用会社に対する持分相当額	△46	2
その他の包括利益合計	△141	187
四半期包括利益	△41	1,475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△41	1,475
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	3,941	9,027	6,811	19,779	—	19,779
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	49	129	179	△179	—
計	3,941	9,077	6,940	19,959	△179	19,779
セグメント利益	△37	378	317	658	△561	97

(注)1. セグメント利益の調整額△561百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	3,606	9,160	7,199	19,965	—	19,965
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	40	139	180	△180	—
計	3,606	9,200	7,338	20,145	△180	19,965
セグメント利益	△229	556	400	727	△488	238

(注)1. セグメント利益の調整額△488百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、埼玉県ふじみ野市の資産について、遊休状態にあり、将来の用途が定まっていないため、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては129百万円であります。